

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 27 号
R6. 6. 6
公益社団法人自衛隊家族会
事務局長 阿部 知己

令和 6年 6月「月報」

1 はじめに

5月30日、北富士演習場で手りゅう弾投てき訓練に参加していた隊員が亡くなりました。国民の負託に応えるべく日々鍛えた前途洋々たる若者の魂の安らかならんことと、ご遺族のご安寧をお祈り申し上げます。

報道によれば、防衛省は2024年版防衛白書の素案で、わが国周辺の情勢について、北朝鮮が核・ミサイル開発を「質的な意味で能力向上に注力」していると強調し、中国と台湾の軍事バランスについては「中国側に有利な方向に急速に傾斜」と分析した上で、台湾がロシアのウクライナ侵略を受け、自身の防衛努力を強化しているとの見方を加えたとされています。北朝鮮は昨年、固体燃料式の新型大陸間弾道ミサイル（ICBM）「火星18」を発射した他、軍事偵察衛星の打ち上げも実施しました。台湾の頼清徳総統が就任した直後に、中国軍が台湾や台湾の離島周辺で軍事演習を実施したのは記憶に新しいところです。昨年度の防衛講演会で高田講師が「ウクライナはロシアに侵略を思いとどまらせるような十分な防衛力を持っていなかった。」と述べ、国防の備えとして例示されたのがまさに台湾の状況でした。

私たちが年に一度の防衛白書刊行、防衛講演会や防衛講話、部隊研修時の懇談、毎月の「おやばと」購読等、折に触れて備えが十分か顧みることが大事なのだと思います。

2 防衛省・自衛隊の活動（防衛省 Web、X 等より）

- (1) 5月20日～5月24日、自衛隊は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震発災時における災害対処能力の向上を図るとともに、防災関係機関、米軍及び豪軍との連携を維持・強化し、国民の安全と安心の確保に資するため、令和6年度自衛隊統合防災演習（参加隊員数：約12,000名）を実施しました。

統合幕僚長統裁の下、内部部局、統合・陸上・海上・航空幕僚監部、情報本部等防衛省市ヶ谷地区所在の部隊・機関等をはじめ、陸上自衛隊では陸上総隊、各方面隊等、海上自衛隊では自衛艦隊、各地方隊等、航空自衛隊では航空総隊、航空支援集団等、その他 防災関係機関、在日米軍、豪軍等がそれぞれの所在地で日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生した場合の指揮幕僚活動、防災関係機関、米軍及び豪軍との連携、航空機及び車両による増強幕僚要員の輸送、早期戦力化を訓練しました。

- (2) 自衛隊は6月7日から18日までの間、米国主催の多国間演習「バリエント・シールド2024」に、陸海空自衛隊から約4000人規模で参加します。訓練は北海道大演習場から八戸航空基地、鹿児島・奄美大島周辺まで、全国各地で行われます。

(3) 5月23日から27日、陸上自衛隊は予備自衛官制度創設70周年を祝賀し、予備自衛官等の士気高揚を図るため70周年事業を実施しました。

23日の朝霞駐屯地での着隊式に始まり、24日に陸幕長の訓示を受け、永年勤続者の表彰、災害派遣に係る講話と続き、翌25日には災害派遣関連の訓練、26日に東富士演習場に移動して富士総合火力演習を研修した後、東京へ戻って記念祝賀会、27日に離隊という日程でした。

昭和29年に導入された予備自衛官制度では、最初にできた予備自衛官制度に加え、予備自衛官よりも即応性の高い即応予備自衛官制度（平成9年）、国民に広く自衛隊に接する機会を設け、将来にわたり予備自衛官の勢力を安定的に確保するとともに民間の専門技能を活用し得る予備自衛官補制度（平成13年）を合わせて3つの制度が設けられています。 木原防衛大臣の挨拶→



平成23年3月の東日本大震災において初の災害招集が実施され、派遣された即応予備自衛官（延べ2,179名）、予備自衛官（延べ441名）が生活支援活動、捜索作活動、通訳、医療、駐屯地業務隊の業務等に従事しました。人的基盤の充実が求められる今、益々の活躍が期待されます。



↑左から、鬼木副大臣、高橋3層、三貝人事教育局長

一連の訓練／行事には、今年の「おやばと」1月号5面掲載の記事を投稿された花巻市市議会議員の高橋予備3曹が参加され、26日の祝賀会には、増田会長代理として阿部事務局長が出席しました。

(4) 海上自衛隊幹部候補生学校を卒業し、3月16日から近海練習航海で訓練を重ねて



【かしま】

きた初級幹部が、5月20日から11月11日の175日間の日程で、勇躍遠洋練習航海に出発しました。練習艦「かしま」、「しまかぜ」の2隻に、74期一般幹部候補生課程修了者約190名を含む570名が乗り組んでいます。

68回目を数える今回の遠洋練習航海では、乗組員個人の通信環境を向上させるための衛星通信アンテナが設置され、常時（と言っても、もちろん休憩時間等でしょうが）インターネットに接続できる環境が整備されているとのことです。

うまくゆけば海自の各艦に広げる考えとのことですので、保全に留意しつつ上手に運用してもらいたいものです。



【しまかぜ】

20日には増田自衛隊家族会会長が出国行事に出席し、激励しました。

(4) ニュージーランドとの連携

ア 航空自衛隊は5月8日、那覇基地でニュージーランド空軍と情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動に関する意見交換等を含む部隊間交流を実施しました。航空自衛隊は、今後も各種機会を活用しながら、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」実現のため、相互理解の深化及び連携強化に一層寄与してゆきます。

イ 海上自衛隊は、5月11日（土）～5月13日（月）の間、東シナ海を訓練海空域として、日米新共同訓練（ノーブル・レイブン24）を実施しました。

海上自衛隊からは護衛艦「あきづき」、米海軍からは遠征用海上基地艦「ミゲル・キース」、ニュージーランド空軍からP-8哨戒機が参加しました。



「日米新共同訓練」の「新」はニュージーランド（新西蘭）の漢字表記です。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて海上自衛隊と米海軍及びニュージーランド空軍との連携を強化してゆきます。

あきづき

ミゲル・キース

3 家族会の活動

(1) 令和6年度第1回理事会（書面決議）の結果

5月30日、本会は、以下の議案を第1回理事会に諮り、理事全員の同意と監事2名の異議なく、決議しました。

- ・第1号議案：令和5年度自衛隊家族会事業報告
- ・第2号議案：令和5年度自衛隊家族会収支計算書及び監査報告書
- ・第3号議案：令和7年度以降の分担金算定要領の改定
- ・第4号議案：役員改選
- ・第5号議案：県自衛隊家族会長人事
- ・第6号議案：運営委員人事

(2) MF0司令部要員を激励

シナイ半島でエジプト・イスラエル間の停戦監視等の活動を行う多国籍部隊・監視団（MF0）の第6次司令部要員として、6月初旬に出国予定の森竹2等陸佐、二宮3等陸佐、山田3等陸佐、森1等陸曹の4名に対し、5月13日、本会からの激励・慰問品を贈呈し、1年間にわたる現地での活動を激励しました。



(3) 札幌家族会で総会と懇親会

4月13日、札幌自衛隊家族会が会員59名及び札幌地本から4名の計63名が

参加して、令和6年度定期総会を実施しました。審議終了後、札幌地本長栗田昌彦1等陸佐に「我が国を取り巻く安全保障環境と防衛省・自衛隊の取り組み」と題して講演していただき、聴講した家族会会員は防衛意識がさらに高まりました。



その後、札幌地方隊友会と合同による懇親会を開催しました。同じ方向性にある組織でありながら、お互いの組織で会員数が減少している現状を踏まえ、合同での実施は更なる相乗効果があるものと期待し、初めて合同で実施したものです。

懇親会には、隊友会・家族会会
 挨拶する森本会長 員、11旅団長以下多くの現職自
 衛官、鈴木道知事や現職国会議員7名等計242名が参
 加し、また、参加した21名の入会間もない家族会員は
 その盛会さに驚き、「自衛隊って本当のすごい組織なん
 ですね。」等の発言もあり、我が子がいる自衛隊に対して
 誇りを感じられた様子でした。



鈴木北海道知事を囲んで

(6) 大阪府家族会が協定締結

4月24日、大阪府家族会は大坂地方協力本部との間で「入隊・入校確定者情報の提供に関する協定書」に調印しました。

今までは毎年の入隊・入校予定者激励会の時に来場者のご家族に家族会入会案内アンケートという形で情報を得るしか仕方ありませんでしたが、これからは激励会等にかかわらず、ご家族の承諾を得られた方の情報を提供していただけるようになりました。



深草大阪地本長

松永大阪府家族会長

(7) 伊丹家族会が伊丹駐屯地の新隊員体力検定(3000m走)を激励



5月14日、伊丹自衛隊家族会は陸自伊丹駐屯地を訪問し、陸自第36普通科連隊の新隊員体力検定(3000m走)



を、川西猪名川家族会、宝塚家族会、東大阪家族会、他OB会、15名が参加して激励しました。(人数制限あり)

朝から日差しが強く気温も高く、更には空気が乾燥した悪コンディションの中、参加隊員42名が懸命に検定に取り組み全員が完走しました。タイムは教官隊員が「現役隊員でも上位レベル」と称賛するほど早い者(9分台:陸上競技経験者)から様々でしたが、私達激励応援側も懸命に走る新隊員に胸打たれながら精一杯声を掛け続けました。また、声を掛けながら伴走、並走する教官隊員の余



裕ある姿に、先輩隊員としての日頃からの鍛錬の成果に驚かされるとともに、第36普通科連隊に対する信頼感を実感する事が出来ました。

また当日は「第3師団創立63周年千僧駐屯地創設73周年記念行事で訓練展示をする第37普通科連隊によるロープ降下訓練がレンジャー塔で行われていたり、レンジャー部隊の訓練がグラウンドで行われていたりと見学は盛沢山でした。



4 事務局からの連絡

(1) 令和6年度定期総会・表彰式・第2回理事会の概要

ア 時期：6月11日（火）13：30～17：00

イ 場所：グラントヒル市ヶ谷

ウ 総会

(ア) 議題

- ・第1号議案：令和5年度事業報告
- ・第2号議案：令和5年度収支計算書及び監査報告書
- ・第3号議案：令和7年度以降の分担金算定要領の改定
- ・第3号議案：役員改選

(イ) 報告

- ・報告1：令和6年度事業計画
- ・報告2：令和6年度分担金
- ・報告3：令和6年度収支予算書
- ・報告4：令和6年度資金調達及び設備投資の見込み

- ・報告5：第29回（令和5年度）「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告
- ・報告6：「問い合わせ窓口」令和5年度を振り返って
- ・報告7：安否確認システム「あんぴくん」

エ 表彰式

- ・団体表彰、個人表彰、感謝状贈呈

オ 令和6年度第2回理事会

（ア）議案

- ・第1号議案：代表理事の選任
- ・第2号議案：業務執行理事の選任
- ・第3号議案：副会長の選任
- ・第4号議案：事務局長の承認
- ・第5号議案：県自衛隊家族会長人事

（イ）報告

- ・代表理事及び業務執行理事の業務報告

（2）意見交換会（17：30～19：00）

（3）令和6年度募集協力者会同

ア 時期：6月12日（水）09：00～11：30

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 目的：内局及び各幕僚監部から隊員募集の現況や施策に係る事項の説明を受け、各県自衛隊家族会が行っている「募集協力における創意工夫等の各種施策」について相互に紹介し、今後の募集協力を資する。

エ 家族会からの参加者：各県家族会会長又は代表者及び各地域協議会地域担当運営委員ほか

以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長